

第4学年 国語科

まつさかしりつだいよんじゅうがっこう
松阪市立第四小学校



【学習目標】

- ・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材

きょうかしょ

「国語四」

(光村図書)

ふくきょうざい

「書写四年」

(光村図書)

かんじ

漢字ドリル

(新学社)

らくらくノート漢字

(新学社)

持ち物

きょうかしょ

ノート

漢字ドリル

らくらくノート漢字

こくごじてん

漢字辞典

習字道具

筆箱

したじ
下敷き

タブレット

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べたりして予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】(☆は書写)

前 期	後 期
<p>1. 白いぼうし ○聞き取りメモのくふう 2. アップヒルーズで伝える ○お礼の気持ちを伝えよう 3. 一つの花 ○新聞を作ろう ○本のポップや帯を作ろう ○神様の階段</p> <p>☆用具のじゅんび/用具のかたづけ ☆書くときのしせい ☆筆の持ち方 ☆タブレットを活用しよう ☆点画の種類 ☆部分の組み立て方(左右)「林」 ☆部分の組み立て方(上下)「雲」 ☆筆順と字形「左右」 ☆画の方向「麦」</p>	<p>4. ごんぎつね ○クラスみんなで決めるには 5. 未来につなぐ工芸品 ○伝統品のみりょくを伝えよう 6. 友情のかべ新聞 ○もしものときにそなえよう 7. 風船でうちゅうへ ○心が動いたことを言葉に ○調べて話そう、生活調査隊 8. スワンレイクのほとりで</p> <p>☆平がな(折れ)「らん」 ☆ノートの達人になろう ☆漢字どうしの大きさ ☆書きぞめ「出発」 ☆四年生のまとめ①②「大地」</p>

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法	
技術の知識・能う ・ 知識	なら かんじ ただ か 習った漢字を正しく書く。 ことば 言葉のきまりがわかる。	ノート 漢字ドリルノート 単元テスト ワークシート たんげん 単元テスト ワークシート ノート ふり返り 単元テスト	ひょうか かんじ たんげん ノート 漢字ドリルノート ふり返り 書写の作品(毛筆・硬筆)
	もじ ていねい か 文字を丁寧に書く。	ノート 漢字ドリルノート ふり返り 書写の作品(毛筆・硬筆)	
	ないよう せいかく よと 内容を正確に読み取る おも かんが つた 思いや考えが伝わるように音読する。	はつげん はっぴょう じゅぎょう ようす 発言・発表 授業の様子 スピーチ 単元テスト(聞くテスト) ノート じゅぎょう おんどく おんどく 授業での音読 音読テスト	はつげん はっぴょう 発言・発表 スピーチ
表現・現象 ・ 判断	すじみち 筋道をはっきりさせて話す。 はな て いと かんが き 話し手の意図を考えながら聞く。	じゅぎょう ようす 授業の様子 ノート 単元テスト(聞くテスト) さくぶん 作文 ノート ふり返り ワークシート 単元テスト	じゅぎょう ようす 授業の様子 ノート ふり返り ワークシート 単元テスト
	じぶん おも かんが ゆた ひょうげん 自分の思いや考えを豊かに表現する。	さくぶん 作文 ノート ふり返り ワークシート 単元テスト	はつげん はっぴょう じゅぎょう ようす 発言・発表 授業の様子 作文 ふり返り ノート 自主学習
	り がく まつ 度いど 組む む 思ふ おも 主に おも 的 てき 主体的に国語の学習に取り組む。		